

もっと清水が好きになる。

しみの風

2023

8

No.598

特集

第51回通常総代会
環境変化に対応できる農業・JAの確立へ

第51回通常総代会

環境変化に対応できる 農業・JAの確立へ

JＡしみずは6月15日、第51回JＡしみず通常総代会を静岡市清水文化会館マリナートで開きました。総代定数500人のうち470人(本人出席228人、書面出席242人)が出席し、2023年度の事業計画を含む全12議案と附帯決議案を承認しました。



2022年度事業報告

合併50周年記念事業の実施とともに、3か年計画の目標に取り組み、新たな環境変化を踏まえた農業・JAを築くため、担い手をはじめとした人材育成・仕組みの検討に努めました。

営農振興事業

農家所得向上のため、量販店への卸販売や地元でのイベントを開催、般向けのネット、通信、店頭販売等により買取販売の拡充を図りました。

柑橘共選場建設委員会を立ち上げ、次期更新の検討を開始しました。

担い手農家の要望や現状を把握するための作物別座談会を開催し、意見や要望に対する回答を行い事業改善につなげました。

経済事業

生産資材の高騰対策として、仕入れ強化や在庫の確保などを行い、出荷経費の削減につなげました。

グリーンセンターでは、産直品と食料品・日用品との関連付け陳列の強化を継続し、准組合員向け園芸塾修了者の産直出荷者登録推進などに取り組みました。

葬祭事業は、小規模葬のニーズに合わせ「家族葬コース」を新設しました。

信用事業

地元企業の持つさまざまな要望に対し総合事業として幅広い情報を提供し、地域産業の取り組みに貢献しました。

共済事業

台風15号の被害を受けた組合員・利用者への迅速な対応と、万に備えた万全な保障提案に取り組みました。新設

農地整備事業

「船越地区」「三保地区」の事業化に向け検討を継続。「吉原土地改良区」「原土地改良区」は施設の一部を静岡市に移管し「伊佐布土地改良区」は解散しました。

不動産事業

組合員の所得向上のため、支店と連携して財産診断を行い、次世代への資産承継対策と資産活用を提案しました。

の認知症共済と医療共済を中心に、複数提案を通じた「ひと・いえくるま」の総合保障の提供に取り組みました。

議案

- 第1号議案 2022年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第3号議案 規約の一部変更について
- 第4号議案 役員選任細則の一部変更について
- 第5号議案 JＡしみず2か年計画の設定について
- 第6号議案 2023年度事業計画の設定について
- 第7号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
- 第8号議案 退任理事に対する退任慰労金の支給について
- 第9号議案 退任監事に対する退任慰労金の支給について
- 第10号議案 理事の報酬の決定について
- 第11号議案 監事の報酬の決定について
- 第12号議案 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領及び実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて

総代会資料はホームページに掲載しています。

貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	金額	負債の部	金額
信用事業資産	3062.80	信用事業負債	3080.86
共済事業資産	0.00	共済事業負債	5.99
経済事業資産	6.57	経済事業負債	6.07
雑資産	11.91	雑負債	25.30
固定資産	94.63	諸引当金	5.97
外部出資	138.23	負債の部 合計	3124.22
繰延税金資産	5.58	純資産の部	金額
		組合員資本	197.74
		評価・換算差額等	▲2.21
		純資産の部 合計	195.53
資産の部 合計	3319.75	負債の部・純資産の部 合計	3319.75

自己資本比率

13.21%

総資産に占める自己資本の割合で、経営の健全性を示しています。自己資本比率規制による基準4%を大きく上回っています。

組合員数

正組合員 5,998 人
准組合員 19,310 人

損益計算書

(単位:億円)

事業総利益	37.69	事業利益	2.27
信用事業	18.92	事業外損益	2.84
共済事業	9.28	事業外収益	6.36
購買事業	5.11	事業外費用	3.51
販売事業	2.93	経常利益	5.11
利用事業	0.00	特別損益	▲1.78
宅地等供給事業	0.96	特別利益	0.00
農用地利用調整事業	0.00	特別損失	1.78
農家経営支援事業	0.25	税引前当期利益	3.32
その他事業	0.57	法人税等合計	0.50
指導事業	▲0.35	当期剰余金	2.82
事業管理費	35.42	当期首繰越剰余金	11.12
人件費	25.34	当期末処分剰余金	13.94
その他事業管理費	10.07		

作物別販売高

(単位:億円、%)

作物	2022度計画	2022年度実績	計画対比	前年対比
ミカン	12.48	10.78	86.42	91.72
中晩柑	3.72	3.84	103.42	100.66
荒茶	1.67	1.66	99.67	85.73
生葉	0.30	0.31	103.36	78.25
花卉	3.40	3.76	110.75	103.14
エダマメ	2.55	2.29	90.00	89.84
イチゴ	3.31	2.92	88.47	95.36
トマト	1.07	0.98	92.44	97.66
その他	3.57	3.74	104.78	106.94
仕上茶	1.15	0.98	85.39	93.37
農産物買取販売	3.41	3.78	110.91	101.93
グリーンセンター直売	2.12	2.08	98.28	97.48
(株)ジェイエイしみずサービス直売	1.70	1.51	88.64	90.56
計	40.46	38.69	95.62	96.05

2023年度事業計画

組合員が農業経営を維持し、農産物の再生産を可能にする環境を整備するため、各方面から支援することのできる組織の構築を目指し、新たな環境変化に対応できる農業・JAの確立に向けた取り組みを一層強化していきます。

営農振興事業

買取販売強化や出荷調整作業軽減、作物組織支援強化などにより農家所得の向上と農業振興に取り組みしていきます。

主要作物の「めざす将来像」の策定と目標達成に向けた取り組みを支援していきます。柑橘共選場の次期更新計画作成に取り組みます。各地域の有害鳥獣対策協議会への支援とともに、防除や捕獲指導、情報提供などにより有害鳥獣対策を強化します。

経済事業

購買品の幅広い有利調達方法を駆使して生産資材の価格引き下げに取り組みつつ、組合員へのアプローチ強化と事務効率の改善を両立する新たな予約購買を検討します。

組合員への対応強化と収益力強化のため、購買事業の営農拠点再編に向けた検討を継続します。

信用共済事業

農業者ニーズに対応した農業資金の機動的・適切な商品提案を行い、地域農業の発展と農業者の所得向上の支援に取り組みます。

その他事業

畑地帯総合整備事業の早期完成と事業実施地区における担い手への農地集積、地域計画の策定を支援します。多様化する組合員の期待に応える資産継承と所得向上につながる資産活用を支援します。



総合収支計画

(単位:億円)

事業総利益	35.45
信用事業	17.56
共済事業	8.60
購買事業	5.03
販売事業	2.86
宅地等供給事業	0.96
農地基盤整備事業	0.59
農家経営支援事業	0.26
その他事業	0.00
指導事業	▲ 0.44
事業管理費	35.21
人件費	25.01
その他事業管理費	10.19

事業利益	0.23
事業外損益	2.56
事業外収益	6.02
事業外費用	3.45
経常利益	2.80
特別損益	▲ 0.92
特別利益	0.03
特別損失	0.96
税引前当期利益	1.87
法人税等合計	0.51
当期剰余金	1.36

営農振興事業
販売高計画

40億 2,582万円

2022年度実績 38億6,995万円

経済事業
供給高計画

22億 8,844万円

2022年度実績 23億2,208万円

信用共済
事業計画

貸出金残高 **842.7億円**

2022年度実績 824.2億円

貯金残高 **3,106.1億円**

2022年度実績 3,063.8億円

長期共済
保有高 **6,235.8億円**

2022年度実績 6,348.8億円

JAしみず2か年計画 (2023~2024年度)

～組合員とともに創造“農業と協同の未来”～

めざす姿(経営理念)

私たちは、「農協があって良かった」といわれる農協を確立し、地域から愛され、組合員とともに歩む農協を樹立します。

策定にあたって

当JAは、2020年度より3年間、「農業の生産拡大」「経営環境に対応した事業・経営の転換」の実現に向けて取り組んできました。今回の2か年計画は、組合員との対話の徹底、関係強化等、組織基盤の中核である正組合員の思いをしっかりと受けとめて、未来を創造していく意思を明確に示しました。引き続き、重点課題に向き合い、生産基盤と経営基盤の強化に努め、持続可能な農業とJA経営の実現に向けて取り組みを進めていきます。

2か年で取り組む重点課題

■ 持続可能な農業の実現に向けた「生産基盤」強化

持続可能な農業・生産基盤の確保に向けて、農業所得の向上に直結する「販売機能の強化」「資材コスト低減に向けた購買事業の強化」などに取り組めます。

基本目標1 産地の維持・拡大に向けて農業振興を強化します

基本目標2 農家組合員の農業経営を強力に後押しします

■ 不断の自己改革の実践を支える「経営基盤」の確立・強化

営農経済事業における店舗再編成をはじめ事業の効率化を図ることにより、固定費削減と農業支援体制強化に取り組めます。

また、柑橘共選場の設備更新など、当JA単独の取り組みに限界がある課題に対しては、静岡県中東部地区4JAで連携することにより解決を図るよう検討を進めます。

基本目標3 持続可能な経営基盤を確立・強化します

基本目標4 新時代に対応した総合事業改革を行います

■ JA運営の好循環に向けた「組織基盤」の強化

組合員との対話により関係強化を図ることを通じて、「わがJA」意識を持ち、積極的に事業利用・活動参加・意思反映・運営参画する組合員を増やします。

JAの事業活動の好循環に向けた「組合員との対話・意思反映の推進」「世代交代を見据えた担い手との関係強化」に取り組めます。

基本目標5 組合員との関係強化と人づくりに取り組めます



代表理事会長(庵原地域)

柴田 篤郎 (68)
しばた とくろう

〈略歴〉

2008年、JAしみず代表理事専務
 2011～2023年、代表理事組合長

Q 組合員とJAへの思い

A いつも職員に言ってきたのは「組合員とよく話をせよ」ということです。もちろんこれは、役員にも言えることです。
 これからも、相手の立場に立って「何に困っているのか」をしっかりと捉え、的確なサポートをしていってほしいと思っています。

Q 会長の役割とは？

A 専務から組合長まで計15年間の経験を生かして、長年培ってきた国、県、市や地元の経済界との人脈を大切に、常勤役員を補佐します。
 次の世代へ、JAしみずのかじ取りを上手に引き継いでいくことが役目だと思っています。

代表理事組合長(由比地域)

石切山 誠 (69)
いしきりやま まこと

〈略歴〉

2014年からJAしみず理事



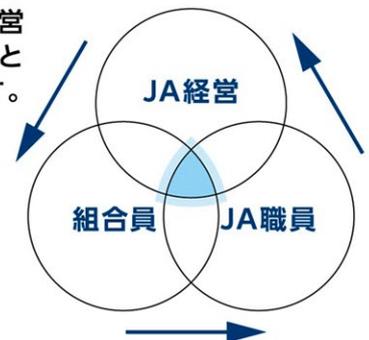
組合員・職員に寄り添い「現場主義」を貫く

Q 組合長としての抱負は？

A 組合員サービス向上のためには、柴田会長と同じく「スピード感をもって、一緒に汗を流す」ことが大事だと思っています。
 歴代組合長の中で初めての職員経験者ですから、職員の気持ちも分かるつもりです。よく「企業は人なり」といわれますが、職員が能力を発揮できる風通しの良い職場風土を大事にしたい。それが、経営や組合員サービスにつながっていくはずなんです。
 組合員、職員の気持ちに寄り添い、「現場主義」を貫きたいと思います。
 農業者の担い手不足や高齢化は否めませんが、「情熱に勝る能力なし」を座右の銘として、清水の農業のために全力を尽くします。

Q JAしみずの目指すべき将来像は？

A 「JA経営」「組合員」「JA職員」の三つの輪が一緒になって循環することが理想です。JAの経営が良くなれば、農家・組合員への還元につながり、農家・組合員が潤えば、職員の気持ちも向上し、仕事にまい進することで当然JAの経営も良くなると思っています。



Q JAしみずの 目指すべき将来像は？

A 長引くコロナ禍、低金利の長期化等により、JAの経営環境はさらに厳しくなります。
①経営の健全化②内部統制の運用
③人材の育成を行っていくことで、組合員・地域の皆さんへのサービスの実現ができていると思っています。
持続可能なJA、農業、地域社会を築けるよう、職員一丸となって「農協があって良かった」と言っていただけよう頑張ります。

持続可能な農業と地域社会の実現に向けて



代表理事専務(学識経験)
深澤 忠伸 (63)
ふかざわ ただのぶ

〈略歴〉
2019年、JAしみず監査室長
2020年から常勤監事

Q 担当する営農経済事業について、 どのように取り組んでいきますか？

A JAを利用することで、農家が安心して農業経営を続けられる仕組み作りができたと思っています。それには、時代に即したIT化やシステムの導入など、組合員から本当に必要とされるJAに変化していくことが大切です。
青壮年部活動で培った経験と人脈を大切に、農家がJAを利用しやすい環境を作っていけたら良いと思っています。

組合員にとって必要不可欠なJAに



常務理事(高部地域)
田島 宏一 (61)
たじま ひろかず

〈略歴〉
1999年、JA静岡青壮年連盟副委員長
2001年、JAしみず青壮年部長
2017年から理事

Q 担当する金融共済事業について、 どのように取り組んでいきますか？

A 金融共済事業を取り巻く環境の変化に対応して、安定したJA経営のために利益確保に努めます。
JAしみずの強みは「人」だと思っています。地域で最も小回りの利く金融機関を目指し「あなたの立場で一生懸命」が伝わったらうれしいですね。
各部門との連携強化と職場の従業員満足度向上にも取り組んでいきます。

地域で最も小回りの利く金融機関を目指す



常務理事(学識経験)
伊藤 雅昭 (60)
いとう まあさき

〈略歴〉
2019年、JAしみず金融部長

Q 監査機能の役割と、取り組みを 教えてください。

A JAの健全な経営のため、内部統制に基づく適正な監査を行います。内部統制とは、決められたルールにのっとりJAの管理を行うことです。
理事会と協同して、組合の監督機能の役割を全うし、職員と一緒にJAしみずを向上させていきたい。その一助を担っていきたいと思っています。

内部統制の適切な運用により組織を向上



常勤監事(学識経験)
武田 重美 (61)
たけだ しげみ

〈略歴〉
2019年、JAしみず総務部長

役員

新役員紹介

(2023年6月～2026年6月)

任期満了に伴い、新役員が就任しました。



代表理事会長(非常勤)
柴田 篤郎(68)
しばた とくろう

理事



両河内地域
清水 稔(65)
しみず みのる



小島地域
堀池 勇(67)
ほりいけ いさむ



小島地域
池ヶ谷 学(68)
いけがや まなぶ



興津地域
北川 評一(69)
きたがわ ひょういち



興津地域
青木 陽一郎(59)
あおき よういちろう



飯田地域
赤堀 充(59)
あかほり みつる



袖師地域
池田 洋一(67)
いけだ よういち



庵原地域
白鳥 博己(63)
しらとり ひろみ



庵原地域
望月 稔之(66)
もちつき としゆき



両河内地域
季高 一志(66)
すえたか かずし



有度地域
瀧 智(54)
たき さとし



有度地域
伴野 嘉昭(66)
とも の よしあき



清水地域
長田 隆行(66)
おさだ たかゆき



清水地域
滝戸 徹(61)
たきど とおる



高部地域
栗田 和彦(69)
くりた かずひこ



女性枠・庵原地域
杉山 秀代(66)
すぎやま ひでよ



女性枠・両河内地域
青木 達代(68)
あおき たつよ



青年担い手枠・興津地域
杉山 祥丈(44)
すぎやま よしたけ



蒲原地域
米倉 進(65)
よねくら すすむ



由比地域
望月 康伯(68)
もちつき やすのり



常勤監事
武田 重美 (61)
たけだ しげみ



常務理事／信用共済事業担当
伊藤 雅昭 (60)
いとう まさひろ



常務理事／営農経済事業担当
田島 宏一 (61)
たじま ひろかず



代表理事専務
深澤 忠伸 (63)
ふかざわ ただのぶ



代表理事組合長
石切山 誠 (69)
いしきりやま まこと

監事



員外監事
村岡 弘康 (67)
むらおか ひろやす



蒲原地域
片瀬 正宏 (46)
かたせ まさひろ



庵原地域
望月 寿訓 (62)
もちづき ひさのり



小島地域
瀧 昇悟 (71)
たき しょうご



代表監事／飯田地域
赤堀 三代治 (72)
あかほり みよし

退任役員のごあいさつ

6月15日をもって3年間の任期を終え、前役員が退任いたしました。
多くの組合員や地域の皆さまのひとかたならぬご協力に感謝申し上げます。



任期を終えた前常勤役員(左から)深澤忠伸常勤監事、小川通博専務、柴田篤郎組合長、青木陽一郎常務、山口肇常務



「難が転じて苦が去る」とされる縁起物の南天九猿(なんてんくざる)

右上の写真は、長い間組合長室に飾っていた置物です。「難を転じて苦が去る、縁起の良いもの」とされる「南天九猿(なんてんくざる)」で、組合員さんからいただきました。混迷の時代ですが皆さまに支えていただき、その名のとおり、難を転じて無事任期を全うすることができました。

これからも「農協があって良かった」と言っていただけよう精進してまいります。新たな体制となったJAしみずをどうぞよろしくお願いいたします。

役員一同



JAしみずの自己改革

～なくてはならない存在であり続けるために～

総代会資料掲載
「自己改革工程表※」を
解説します！



2021年6月に閣議決定された規制改革実施計画等や第29回JA全国大会決議をふまえ、2022年度よりJAグループは、自己改革実践サイクルに取り組んでいます。

JAしみずは、今後も地域になくてはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

※協同のみのり冊子50ページ、WEB版は65ページに掲載しています。

対話を通じた不断の自己改革【3つの基本目標】

農業者の
所得増大

農業生産の
拡大

地域の
活性化

農業者の所得増大・農業生産の拡大

2 パッケージセンター拡充による 労働時間削減

出荷調整労力の軽減対策として、2017年にイチゴのパッケージセンターを設置し、その後エダマメ、イチジクにも取り扱いを広げ、利用者は順調に増加しています。出荷作業の軽減によって、生産者は栽培管理に注力することが可能となり、規模拡大による産地維持につながっていきます。



2022年度実績
6,534時間

労働時間削減効果
利用者
1人あたり平均 **328**時間 削減

2023年度目標
7,760時間

2024年度目標
8,530時間

1 買取販売の拡大による 農業者手取り価格の増加

買取販売はJAが農家から買い取った農産物を消費者や地元量販店などへ直接販売する市場外流通の取り組みです。流通コストを抑えて鮮度の高い商品を届けることができ、価格面でも農家、消費者の両者にメリットがあります。農家所得の向上につながっており、今後も強化していきます。



2022年度実績
6,060万円

売上増加効果
市場販売と
比べた手取り **25%**増加

2023年度目標
6,082万円

2024年度目標
6,252万円

4 グリーンセンター 直売品売上高の増加

グリーンセンター産直コーナー出荷者への声掛けや生産サポートによって出荷者や出荷品を増やし、より魅力的な売り場と売上増を目指します。



2022年度実績
2億885万円

売上増加効果
売上高 **4.2%増加**

2023年度目標
2億1,530万円

2024年度目標
2億1,777万円

3 予約購買の推進による コスト削減

NEW

個々のニーズに合わせて肥料や農薬等、生産資材の予約購入を推進し、正確な需要を把握することで、仕入れ価格の低減につなげます。本年秋から試験導入する新システムにより、事務作業の軽減を図り、創出された時間で新たな提案と情報共有を進めていきます。



コスト低減効果
1袋あたり **150円**

2023年度目標
13万2,000袋

2024年度目標
13万3,000袋

地域の活性化

しみずみらい応援団活動による 農業振興・社会貢献

アグリプロモーション部を中心に、WEBや准組合員向け広報誌を活用した応援団対象商品の優待販売を行います。団員の増加と販売額増を図り、売上の一部をあしなが育英会へ寄付します。



2022年度実績
寄付金額 **391万円**

2023年度目標
寄付金額 **400万円**

2024年度目標
寄付金額 **410万円**

経営基盤の確立・強化

今後5年間の経営シミュレーションでは、事業環境悪化による信用事業の収益減少の影響が最も大きく、その他の事業も減益となることが確実視されています。

これらの課題に対して、健全で持続性のある経営を確保するため、金融店舗の再編、優良農地の創設と担い手への集積による販売力の強化に取り組めます。



金融共済事業本部の 収支改善

NEW

施策 金融共済事業店舗の再編成を行う

目標 2店舗のブランチンブランチ化
(庵原支店内に両河内支店、清水支店内に三保支店をおく)

農業経営安定化に向けた 優良農地の整備

目標 労働生産性の向上、農業所得の向上、
農業経営の安定化
2地区(加瀬沢・矢部)完了
2地区(池ノ沢・船越)事業継続

対話・意思反映

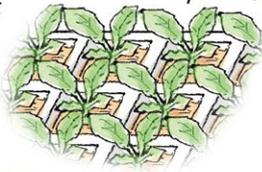
正組合員との対話や作物別部会員座談会に加え、広報モニターや准組合員の声にも耳を傾けて改革の評価を把握し、地域農業と経済がともに発展するようなJA運営を実現します。

項目	2022年度 計画	2022年度 実績	2023年度 計画
組合員訪問(訪問先数全地域合計)	5,798先	5,660先	5,660先
作物別部会員座談会(開催数、出席者数合計)	12回、120人	12回、110人	12回、120人
准組合員広報誌モニター(モニター数)	40人	40人	40人
地域運営委員会等(開催数、出席者数合計)	132回、258人	124回、263人	132回、263人
青壮年部・女性部との意見交換会(開催数、出席者数)	3回、31人	3回、31人	3回、41人

① 苗作り

【間引き】

本葉1~2枚の頃、徒長苗などを間引いて1本立ちにする。



本葉3~4枚に仕上げ

セルトレーの場合



1穴3~4粒まき、ふるいでごく薄く覆土する。

ポットの場合

少ない本数なら、直径9cmのポリ鉢に4~5粒種まきして、本葉出はじめのころから2~3回間引きし、本葉3~4枚のころ1本立てにして育てる。



本葉3~4枚のころ植え付ける。

② 畑の準備

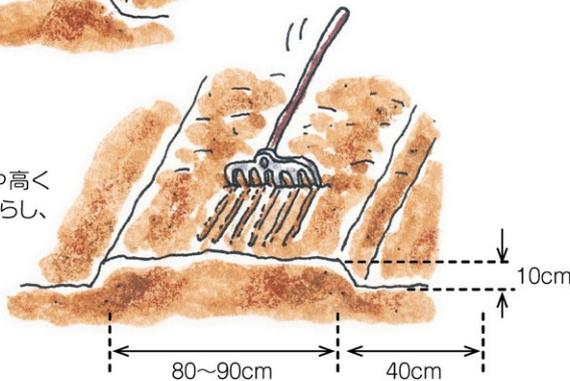
畑は、前作を早めに切り上げ、植え付けの半月くらい前、全面に石灰をまいておく。完熟堆肥、園芸配合80aをまいて、畑をよく耕しておく。



完熟堆肥

園芸配合80a

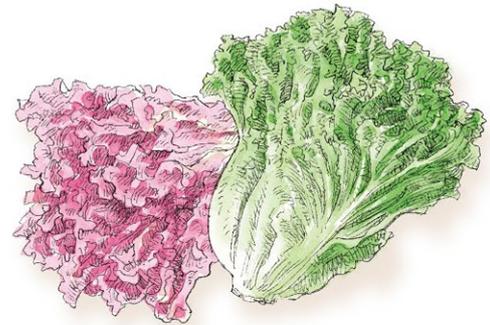
ベッドの中央がやや高くなるように丁寧に、水はけをよくする。



本格 畑づくり

リーフレタス

リーフレタスはまき時の幅が広く、育ちが早い作物です。さらに、玉レタスと比べると種も発芽しやすいので栽培は簡単です。しかし、酸性土壌にやや弱いので、畑を耕すときには石灰を施すことが大切です。また、レタスは好光性種子といい、光によって発芽が促進される種子なので、覆土は薄くし、込み合わないようによく間引き、移植しましょう。各種混合されているミックスの種は色々な種類が味わえるのでおすすめです。



■栽培カレンダー

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
夏まき冬どり栽培					●	◆		■				
秋まきトンネル栽培						●	◆		■			

● 種まき ◆ 定植 □ トンネル被覆 ■ 収穫

左記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

【ご注意ください】 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

※農薬は、ラベルに記載された安全基準を守って使用しましょう。
※ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。

グリーンセンターおススメ! アイテム



猛暑対策!
ファン付き作業服

背下部に2台のファンユニットを搭載。

刈払機や噴霧器などを背負っても風が通り、炎天下での作業に威力を発揮します。

清涼ファン風雅ベスト 19,800円(税込)

★8月末までの特典★

替えベスト1着プレゼント!!

※サイズは、L・LL・3Lの3種類

※在庫がなくなり次第、終了

グリーンセンター

元田 千晴



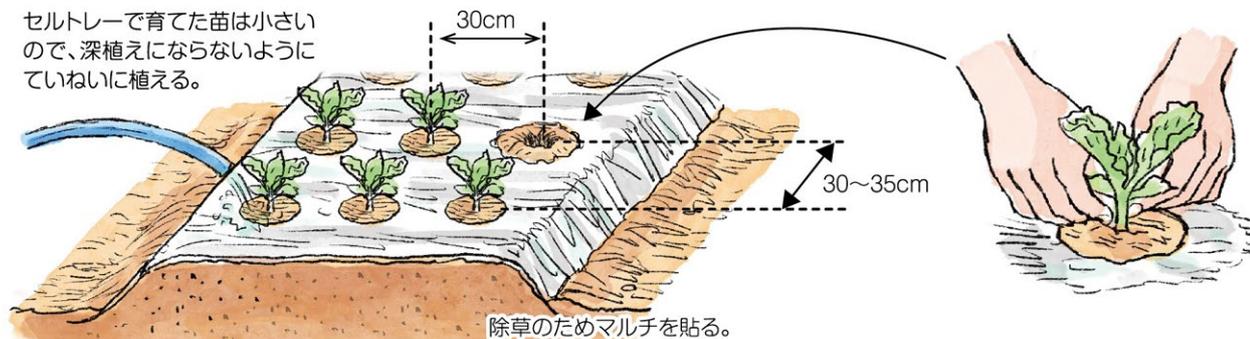
■商品については…



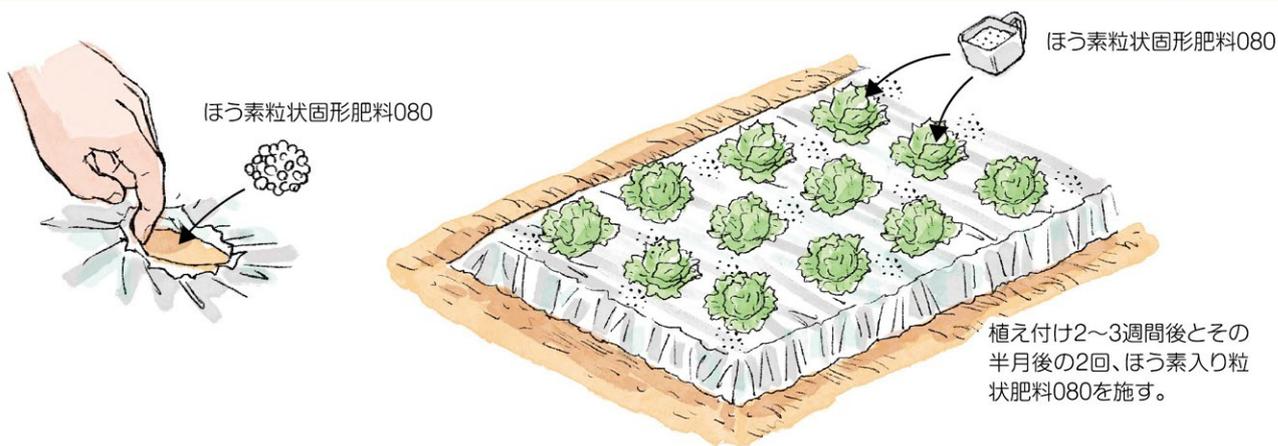
グリーンセンター
054-367-2112

③ 植え付け

セルトレーで育てた苗は小さいので、深植えにならないようにていねいに植える。

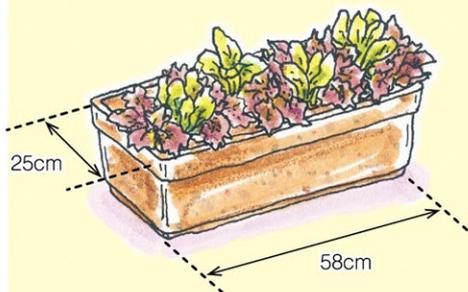


④ 追肥



プランター栽培

リーフレタスは栽培面積を取らないため、プランター栽培に最適です。



長方形のプランターで赤と緑のリーフレタスを栽培した例(10株程度)。

⑤ 収穫

いっせいに収穫

中のほうの葉が内側に巻き始めたら収穫適期。葉数は25枚くらいある。収穫は株元から切り取る。



かき取り収穫

少量ずつ長期間収穫し続けるには、外側の葉から順次かき取りながら収穫するとよい。



多様な色合いや歯ざわりが食卓にぎわせる。

■施肥例

施肥量:1a当たり

種類	施肥量	備考
元肥		
苦土石灰	9kg	作付け20日前施用
朝霧高原の牛ふん堆肥	90kg	作付け10~15日前施用
園芸配合80α	18kg	
追肥		
ほう素入り粒状固形肥料080	3kg	④追肥の項を参照

■病虫害防除

散布量:30L以内/1a

病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数	備考
軟腐病 斑点細菌病	コサイド3000	2,000倍	-	-	散布
アブラムシ類	ダントツ水溶剤	2,000~4,000倍	収穫前日まで	2回以内	散布
ヨトウ類 ネキリムシ類 ハモグリバエ類	プレバソンフロアブル5	100倍	育苗期後半~定植当日	1回以内	灌水 セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(約30×60cm、使用土壌約1.5~4L)当たり0.5L
ヨトウ類 ハモグリバエ類		2,000倍	収穫前日まで	3回以内	散布
ナメクジ類	マイキラー	500倍	収穫14日前まで	3回以内	散布

※リーフレタスは「非結球レタス」に分類されます。

9月は茶の樹の地上部や地下部の成長が活発になり、次年度の一番茶を生育させるための養分蓄積が開始されます。

この時期に、葉層を十分に蓄え、光合成をさせることで、翌年の収量や品質に好影響を与えますので、基本に沿った管理を行ってください。また、下旬には秋整枝が始まりますので、茶園の状況を把握し、計画的に実施してください。

■ 病害虫防除(表①)

主に秋芽に対して防除を行う園地としては、秋冬番を摘採する園地や更新園が該当します。秋芽萌芽から開葉期の害虫に注意し、発生確認後速やかに、基準に沿った防除を実施してください。

■ 施肥(表②)

秋肥は、越冬芽の充実と翌年一番茶への寄与を図るため秋整枝前に施肥します。冒頭でも述べたように、この時期の養分蓄積が翌年一番茶の収量・品質への寄与率が高いため、基準に沿って確実に実施してください。

■ 秋整枝

秋整枝は、単純に摘採面を均一にする作業ではなく、翌年一番茶の収量構成を担う重要な作業ですので、茶園の状況を把握し計画的に実施してください。

■ 秋整枝の整枝位置

秋整枝の位置(深さ)は三番茶の生育状況によって判断してください。

① 三番茶の生育が良い場合

三番茶芽の下位2~3枚目の間で、三番茶の下位から2節残してください。

② 三番茶の生育が悪い場合

三番茶芽の頂芽をできるだけ残し、秋芽のみを除去する程度の浅い整枝とし、次年度の有効芽を確保してください。

③ 更新園の場合

更新後の再生枝の下位から2節を残して秋整枝を行います。7月に整枝をした場合は、その後出てきた芽を2節残します。

④ 更新園や芽重型茶園など、徒長している茶園

日焼け防止のため、2回に分けて秋整枝を行います。1回目の整枝は、本整枝の7日前を目安に、本整枝位置より3節上で実施します。

■ 秋整枝の時期

気温の推移を正確に予測することは困難ですが、気象予報に留意するとともに、園地の場所による差にも配慮し、平均気温が19℃~20℃になった頃を実施の目安にしてください。

余りに遅すぎると、越冬芽の形成が遅れ一番茶に影響が及びますので、遅くとも10月末までに実施してください。

★ 清水の芽重型茶園の秋整枝方法 ★

清水の芽重型茶園の認定要件は、原則「年間成長量15cm以上」です。

年間成長量とは葉層とは異なり、「前年の秋整枝位置」から「本年の秋整枝位置」までの長さ、更新園では「本年更新位置」から「本年秋整枝」までの長さですので、年間成長量を確保するために整枝前の位置確認を必ず行ってください。



表① 秋冬番を摘採する茶園への防除(防除基準の摘要に掲載)

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
秋芽 開葉期	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ チャノホコリダニ チャトゲコナジラミ	ハチハチフロアブル	1,500倍	14日	1回

※ 病害虫発生確認後防除

表② 施肥

施肥名	コース名	施用時期	肥料名	施用量
秋肥	「基本」	秋整枝前(9月)	しみず長効き配合	5袋
	「こだわり茶園」	8月中下旬	しみずプレミアム魚配合	4袋
		秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	4袋
	「省力ロング」	秋整枝前(9月)	しみずパワフル配合	5袋

■ 病害虫防除

表①を参考に防除してください。極早生は、収穫前日数に注意が必要です。

また、ポンカンとはるみは、ペンコゼブ水和剤の収穫前日数90日にご注意ください。秋のミカンハダニの被害は品質低下につながるため、適期防除を心掛けてください。



■ 管理作業

表②を参考に摘果してください。青島温州は9月以降が後期摘果の時期となります。果皮がなめらかになった頃に摘果することにより、無摘果に比べ糖度が上昇する傾向があります。増糖効果を得るためにも、極小果、内・裾なり果、傷果、腰高果等を中心に1本の樹を短時間で摘果し、葉果比を25枚に1果まで近づけてください。

著しく着果量が少ない樹は、収穫前の樹上選果で対応してください。

表③を参考に中晩柑類に初秋肥を施用してください。

表① 病害虫防除(柑橘)

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1	茶登録
温州ミカン	8月下旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル※3	2,000倍	21日-2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日-1回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤※2	600倍	30日-4回	×
中晩柑 ※4	9月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル※3	2,000倍	21日-2回	○
		ミカンハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	前日-1回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤※2	600倍	90日-4回	×

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

※2 耐雨性向上を図るため、黒点病防除散布時にはアピオンE1,000倍を混用散布する。

※3 キラップフロアブルは、着色期以降に使用すると薬害が発生する恐れがあるため、使用しない。

※4 台風襲来によりかいよう病の多発が予想される場合は、クレフノン200倍加用、ムッシュポルドーDF1,000倍(-)を台風襲来前に散布する。

～その他共通注意点～

- ・9月防除以降、チャノキイロアザミウマ多発園やハマキムシ発生園では、ディアナWDG10,000倍(前日・2回)を散布する。
- ・9月防除以降カメムシが発生した場合には、ロディー乳剤(劇)2,000倍(7日-4回)を散布する。

表② 摘果(柑橘)

品目	摘果する果実	残す果実	摘果終了時期目安	最終適正葉果比
青島温州	内・裾なり果、極小果、著しい外観不良果	外なり果、少々の外観不良果、軸太果、天なり果、極大玉果 ※ 軸太果、天なり果、極大玉果、外観不良果は10月下旬以降の樹上選果で摘果する。	10月中旬まで	25~30枚に1果
太田ポンカン	直花果、短い有葉果、樹上1/3全摘果(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	外周部の有葉果 10cm以上で5枚程度の果梗枝の細い有葉果	9月上旬まで	100~120枚に1果



表③ 施肥(柑橘)

品目	施用時期	肥料名	10aあたりの施用量
はるみ・不知火・清見	9月上旬	かんたくんBB改	2袋
甘夏・スルガエレガント			3袋

■ 防除

最終防除として中生・晩生品種では8月下旬~9月上旬中に栽培暦に従い、ブラシフロアブルでいもち病・もみ枯細菌病、トレボン乳剤でカメムシ・コブノメイガ等の防除をします。毎年問題となるウンカには、トレボン乳剤、キラップジョーカーフロアブルが効果的です。

■ 収穫適期

米作りも仕上げ段階になります。一般的に、早刈りすると青米や未熟米が多くなり、食味・品質・収量ともに低下します。逆に刈り遅れた場合は、玄米の光沢が失われ、胴割米が多くなり品質が低下します。

収穫適期の目安は、出穂後日数で早生種35日前後、中生種40日前後、晩生種45日前後です。

さらに正確に適期を知るには、少しでも緑色を呈している籾

(帯緑籾)の割合から判断する方法があります。生育が平均的な株を調べ、稔実中の帯緑籾の割合が5~10%の 때가収穫適期となります。また、帯緑籾が半減する日数は、8月~9月中旬でおおよそ5日間、9月下旬以降でおおよそ7日間が目安です。





■病害虫防除

薬剤散布に加え、園内清掃に努めることが病害虫防除において重要です。

特にイチジクの黒かび病発病果は媒介昆虫を誘引し、二次伝染病を発生させるため早期に除去し、処分してください。梨の黒星病が発生した葉は落葉、地表面で越冬し、翌年の発生源となるため土壌へすき込んだり、圃場外に持ち出したりして対策しましょう。

■管理作業

イチジクは収穫期のため、継続的な施肥を行ってください。収穫を終えた品目は、翌年に向けた樹勢回復のために必ず礼肥を施用してください。

台風シーズンのため落葉、落果防止などの台風対策を行ってください。

表④ 病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期※2	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準※1
イチジク	9月下旬	さび病・疫病	アミスター10フロアブル	1,000倍	前日-3回
柿(次郎、四ツ溝)	9月上旬	うどんこ病・炭疽病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	14日-3回
梨(幸水、豊水)	9月中旬	黒星病	キノゾーフロアブル またはドクリンフロアブル	1,000倍	3日-9回
キウイフルーツ※3 (ハイワード)	9月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日-5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アブロード水和剤	1,000倍	前日-2回

表⑤ 施肥(落葉果樹)

品目	施用時期	肥料名	施用量
イチジク	9月上旬	粒状固形30号小粒	1.5袋/10a
	9月下旬		
梨	収穫後	粒状固形080	3袋/10a

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

※2 天候と害虫の発生状況に応じて、散布時期を調整してください。

※3 カメムシ類の発生が多い場合は、アドマイヤーフロアブル2000倍(前日-2回)を散布する。



ききん 飢饉から村人を 救ったヤマナシ



山 形県大石田町に「次年子(じねんご)」という地区があります。この名前の由来は諸説ありますが、冬は雪深く、冬季に生まれた子どもは翌春に役場に出生届を出したことから「次年子」となったそうです。

ここはそばが有名で、人気店『七兵衛そば』の駐車場の片隅には幹の直径が1.5m程の大きなイワテヤマナシの樹が立っています。このナシは東北地方に広く分布する野生ナシで、秋には球形～長卵形、果皮色が緑色または褐色で、20～30g程度の小さな果実が採れます。

次年子の集落を見渡すと、多くの家の庭にイワテヤマナシの大木があります。かつては、家屋の建築材料や「くし(梨櫛)」の材料として利用したりしていたそうです。

また、果実は晩熟性で酸っぱく、硬くて渋いものが多いそうですが、穀物が収穫できない冷害の年でも果実をたくさん着けたことから、飢饉の際の救荒作物(保存食)として重要な役割を担ってきました。

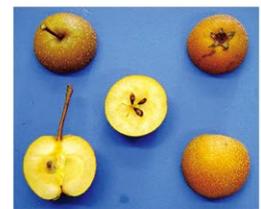
このナシは、東北のある地域では「ケカズナシ」とも呼ばれるそうです。「ケカズ」とは方言で飢饉を意味しています。昨今、この集落を離れる人が多

農にまつわる
エ・ト・セ・ト・ラ
et cætera

農業にかかわるよもやま話を
不定期にお届けします。

第5回

く、家屋はなくなっても救荒作物としての役割を終えたイワテヤマナシの大木だけが残されています。



イワテヤマナシの果実

『七兵衛そば』の駐車場に立つイワテヤマナシ



スマホでもチェック!

材料
2人分

- ピーマン 6個
- サバみそ煮缶詰 1個(200g程度)
- ニンニク 3片
- ゴマ油 大さじ1/2
- 酒 大さじ1
- 水 100ml
- サバみそ煮缶詰の煮汁 大さじ1
- 焼き肉のタレ(中辛) 大さじ1
- 白すりゴマ 小さじ1
- 黒すりゴマ 小さじ1
- 韓国粉唐辛子 小さじ1
- 糸唐辛子 適量



丸ごとピーマンのくたくた煮

ピーマン大量消費! 冷たくても熱々でもおいしいピリ辛煮

作り方

(1)ピーマンの準備をする

- ① ピーマンは洗ってしっかり水気をふく。
- ② ヘタを指で押し込むようにし、ヘタと種をとる。

(2)その他の材料の準備をする

- ① サバみそ煮缶詰は固形部分と缶汁にわかる。骨を取り除き、軽くほぐしてを混ぜる。
- ② 缶汁大さじ1を取り分け、残りは味の調整用にとっておく。
- ③ ニンニクは薄皮をむいて縦半分になり、芽をとる。

(3)ピーマンを焼き付ける

- ① 鍋を中火で熱してゴマ油をしく。ピーマンを並べ、焦がさない程度にしっかり焼き目を付ける。
- ② 白い皮が浮いてきたら(1分程度)、裏返し逆側も焼く。全面焼き付けなくてもいいが、全体の2/3程度には焼き目を付ける **a**



ピーマンの皮を焼くことで、味がよく染みた「くたくた煮」になる。

(4)煮る

- ① 皮が浮いたら酒を入れ、すぐフタをする。パチパチと跳る音がある程度収まったら、火を止める。

ポイント

- 中火にかけたままだと、すぐに蒸発してしまうため火を止めて作業する。
- ニンニクは最初から加えると焦げてしまうので、このタイミングで加える。

- ② 水、ニンニク、焼き肉のタレを加えてフタをし、再び中火にかけ、沸騰してから5分煮る。
- ③ さらに裏返して5分煮る。火を止めて、缶詰の固形分を加え、軽く混ぜる。皿に盛り、糸唐辛子を飾る。冷やして、そうめんなどにのせてもおいしい。

通常五角形をしているピーマンのヘタは、樹の栄養状態が良く、花に勢いがあると六角形以上になります。こうした実は、肩が高く張り、色ツヤもよいことが多く、おいしいといわれます。



「ピーマン」と調理のコツ

「ピーマンには苦み成分がない」と判明したのは10年ほど前。

果肉に多く含まれる渋み成分「クエルシトリン」とタネに多く含まれる香り成分「ピラジン」が同時に口の中に入ると「苦いと感じる」、これが「苦み」の正体でした。

二つの成分のどちらかを「①感じにくくする」か「②取り除く」と「苦み」は低減します。

①感じにくくする

- 切らない=細胞の中に閉じ込められている成分を出さない。切る場合は細胞の並びに沿って「縦」に切る。
- 食べる直前まで冷やす=揮発成分が飛びにくくなる。

②取り除く

- 素揚げする=脂溶性の「クエルシトリン」が揚げ油に移行。
- タネを取る=「ピラジン」の多くを除去。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロ、栄養情報担当者(NR)、食育プロデューサー他

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

今月の素材

清水庵原小3年生 茶摘みと茶工場見学

清水庵原小学校3年生の児童と関係者約70人は6月29日、梅島土地改良区にある清水のブランド茶「まちこ」の茶園で手摘みを体験しました。児童は、庵原地域の茶生産者に指導を受けながら「1芯2葉」で茶葉を摘み、「桜葉の良い香りがする」と話していました。

また、吉原共同製茶組合へ移動し、茶工場の見学や茶の袋詰めを体験。同組合の池田重人組合長は「茶工場の見学や体験を良い思い出にしてほしい」と話していました。



▲茶園で「まちこ」の茶摘みをする児童

JAしみずハウスミカン部会 水分を抑えて味にこだわり

JAしみずは6月29日から、柑橘共選場で夏の高級果物ハウスミカンの出荷を始めました。中元や盆の贈答需要が高く、8月中旬まで静岡市内の市場と関東の青果市場へ約45tを出荷する予定。

清水産は、限界まで水分を抑えた管理によって5、6cmとやや小ぶり傾向ですが、できるだけ完熟で収穫し、糖度13前後と味にこだわって栽培。果皮が薄く、みずみずしく濃厚な甘さが特徴です。管内では部会の生産者7戸が、104aで「宮川早生」と「興津早生」を栽培しています。



▲選果作業を行う従業員ら

清水駒越小 エダマメの食農教育

清水駒越小学校の5年生35人は6月22日、地域の特産であるエダマメについて、生産者の堀直広さんのハウスとJA駒越集荷場を訪れ、栽培や農産物の流通について学びました。

堀さんのハウスでは、ハウスの天窓などが電動で開閉する様子を見て、「すごい」と驚きの声を上げていました。また、JA駒越集荷場では、海外へのエダマメ出荷に話がおよび、「米国やアジアなど海外まで出荷していることは初めて知った」と話していました。



▲堀さんのハウスを訪れた児童

JAしみず青壮年部庵原支部 地元園児がプラム収穫

地元の農産物を知ってもらおうと、JAしみず青壮年部庵原支部は6月下旬、庵原こども園と原こども園の園児を部員の杉浦義定さんの園地に招き、プラムの収穫体験と試食会を開きました。

園児たちは水で洗ったプラム「サンタローザ」を皮ごと味わい「酸っぱい」「でも、甘くておいしい」と歓声を上げていました。

杉浦さんは「園児たちに地元の農産物の味を知ってもらい、大人になった時に思い出してもらえたらうれしい」と話しました。



▲収穫したプラムを見せ合う原保育園の園児ら

JAしみずサービス ラッピングトラック納車

JAしみずは6月20日、地元で生産される農産物のキャラクターを車体に大きく描いたラッピングトラックの納車式を、JA本店駐車場で開きました。納車式には、石切山誠組合長やJAしみずサービスの篠原一成社長ら関係者約15人が参加し、トラックの安全と農産物の認知度向上を祈願しました。

ラッピングトラック11台目となった今回は、アメリカンポップをイメージさせるにぎやかなデザイン。同社のトラックとして県内外を走り、清水の農産物をPRします。



▲納車したラッピングトラックを見上げる関係者

JAしみず女性部由比支部 夏野菜で由比北小と食育講座

JAしみず女性部由比支部は6月16日、由比北小学校の1、2年生8人を対象に、地元農産物を使った食育講座を開きました。

女性部員たちは、地元で栽培されたカボチャ、ナス、インゲン、ゴーヤー、キュウリ、エダマメなど夏野菜を持ち込み、野菜の栄養や栽培方法、鳥獣害の対策などについても手作りの資料を使いながら説明。児童らは野菜の葉や根を触ったり、土のにおいを確かめたりし「野菜の育て方を勉強できた。将来自分でも作ってみたいと思う」と話していました。望月澄子支部長は「地元の豊かさを知り、今後も関心を持ってもらえたら」と児童らに思いを込めていました。



▲ 夏野菜について楽しく学んだ児童ら

JAしみず洋花部会 オンシ販売戦略を練る

JAしみず洋花部会は6月30日、(株)大田花きの担当者2人を招いてオンシジウムの園地巡回を行い、育成状況、栽培環境と国内外の市況、販売価格の推移を確認しました。JA集出荷センターの望月裕人担当は「台湾産と出荷時期が重ならないようにコントロールし、競争力をつけて国産商品で勝負したい」と生産者に呼び掛けました。

園地巡回後に開いた販売検討会で、同社営業本部の平川琢也氏は「商品情報を迅速に市場に流し、品質をそろえ花屋からアテにされる産地になることが必要。初心に戻り、セールスポイントをアピールしてほしい」と、話しました。



▲ 園地で栽培状況を確認した部会員ら

倉澤びわ組合 由比こども園が食育体験

由比こども園は6月8日、倉澤びわ組合の小澤茂美さんの作業場を訪れ、園児2人がビワの出荷工程を見学し、袋詰めを体験しました。

小澤さんは「ビワの表面には産毛が生えています。産毛が取れないようにやさしく触ってね」と園児に声を掛け、園児は収穫用コンテナの中にあるビワをそっと持って、丁寧に袋へ詰めていました。

同園の保育者は「新型コロナによる制限が緩和されたので、積極的に体験活動をさせてあげたい」と話していました。



▲ ビワ農家の小澤さん(右)と園児たち

JAしみず興津宮農拠点 興津小で出張授業

JAしみず興津宮農拠点は6月16日、清水興津小学校の3年生を対象に、地元で栽培されている農作物について理解を深めてもらおうと出張授業を行いました。

講師を務めた安竹英晴係長が「興津の農作物」と題し、スライドショーを交えながら「清見」や「はるみ」「太田ポンカン」など、清水区発祥のかんきつ類を中心に説明。

安竹係長が「『はるみ』を食べたことがありますか」と質問すると、児童らは元気良く手を挙げていました。



▲ 地域の農産物について学んだ児童

JAしみず小島支店 小島小児童と梅干し作り

JAしみず小島支店は6月7日、小島小学校で梅干し作り体験を行いました。一地域一協同活動の一環で、梅生産者の堀池梅子さんを講師に、梅の塩漬けを作りました。

児童24人は6班に分かれ、梅のヘタを竹串で取った後、塩をまぶしながら容器に入れました。半年ほど漬け込み、家庭に持ち帰り味わう予定です。

堀池さんは大分県日田市大山町で開かれた「第5回全国梅干しコンクール」で最優秀賞を受賞した梅干し作りの名人。同校での梅の漬け方の指導は今年で16年目になります。



▲ 梅の塩漬け作りを体験する児童

季節の お便り



長野県のJA大北は、長野県の北西部にある大町市、北安曇郡(池田町・松川村・白馬村・小谷村)をエリアとする、JAしみずの姉妹提携JAです。このコーナーでは、北アルプスの雄大な自然に恵まれた四季折々の信州の魅力を年4回、伝えていきます。



オリンピックレガシー(大会後の社会的・経済的な恩恵や影響)を学ぶ生徒



環境保全活動でヨシの刈り取りを体験



白馬村では、9月中旬より実りの秋を迎えて稲刈りが始まる



コンバインに乗って稲刈りを体験



白馬ジャンプ競技場を見学し、オリンピックとパラリンピックの理念や価値に理解を深める生徒

**大北の自然が先生！
グリーン・ツーリズムを後押し**

雄大な北アルプスの麓に広がる大北エリアには、自然と人々が共存する「日本の原風景」の暮らしが息づいています。

JA大北では、心豊かで健康な心身を育み、農業への理解と親しみを深めることを目的に、自然・農業体験を提供するグリーンツーリズム事業を行っています。

9月下旬には、東京都武蔵野市が行うセカンドスクールという取り組みで、同市立中学校3校約250人が白馬村に4泊5日の体験学習に訪れます。

セカンドスクールは、同市立小学校5年生と中学校1年生が対象で、自然豊かな農山漁村に長期宿泊を行う同市の教育活動です。普段の学校生活では体験できないような学習活動を授業の一部として取り入れ、JA観光課が窓口となって20年以上続いています。

白馬村は、1998年の長野オリンピックの開催地です。生徒たちはジャンプ競技場を見学し、オリンピックとパラリンピックの歴史や理念を学ぶほか、特産の米を収穫するなど、農作業体験をします。

JA観光課の田中詠都さんは「未来の創り手となる子どもたちに、セカンドスクールを通じて、自分の中に眠る未知の可能性を信じて、何事にも挑戦してほしい」と期待を込めています。



お釜のふたを一気に開いてボン菓子を作る部員ら



いまどき! Youth

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介しています。
 今月は5年ぶりの開催となった、由比桜えびまつりでの出店と物品販売の様子を紹介します。

雨にも負けず、元気にボン菓子作ってらいたー!

青壮年部は6月11日、清水区由比漁港構内で開かれた「由比桜えびまつり」に出店し、部員が栽培した米を原料にしたボン菓子を作って販売しました。

朝からあいにくの雨天となり、時折雨脚が強くなる中、部員一丸となって出店の準備をしました。桜えびまつりは5年ぶりの開催となり、部員も前回の段取りを思い出しながら作業を進めます。

ボン菓子の味は、素朴な味のプレーンと、塩バター、きなこ、抹茶の4種類を取りそろえ、テントの裏側で部員以外のスタッフが素早く仕上げています。今回は、900人分作れるように、米を約60キロ準備しました。「前は桜えびの粉末で、桜えび味も作りましたが、ちよつと足が出ってしまったので、今回は…」と部員の一人は苦笑い。

開会式が終了し、イベントが進行する中、部員たちはボン菓子を販売用にディスプレイし、来場客に声掛けを始めます。紙の小カップにボン菓子を詰め、来場者に配ってアピールしまし

た。途中ボン菓子の釜に小さなトラブルが発生する一幕もありましたが、これも部員一丸となり、見事に復旧。チームワークの良さを見せていました。

青壮年部は本年度、「清水の農業は俺たちが守る『攻めの農業』」を他より抜き出た杭になる」をスローガンに活動。同イベントに参加した青木雄基部長は「5年ぶりの参加で、部員たちも張り切っている。あいにくの雨になってしまったが、来場者に喜んでもらえるように頑張りたい」と意気込んでいました。

部員のひとこと

しばらくぶりの作業で、前回のことを話し合いながら準備をしました。
 コロナ禍の間にメンバーが替わったりしましたが、今後協力してイベントを盛り上げたいです。

来場者に喜んでもらえるように頑張りました!



JA青壮年部 部長 青木雄基さん

清水にぎわい落語まつり チケット好評販売中

今年も清水区出身の春風亭昇太さんを筆頭に、個性豊かな落語家が来清します。

10月7日(土)	■会場 GINZAシャル
清水銀座公演	■券種 全席自由2,000円(整理番号順)
	■時間 1回目 13:30開演(13:00開場) 2回目 16:30開演(16:00開場)
10月8日(日)	■会場 清水テルサ1階ホール
清水テルサ公演	■券種 全席指定3,500円
	■時間 13:30開演(13:00開場)
10月8日(日)	■会場 サウンドシャワーアーク
エスパルス ドリームプラザ公演	■券種 全席指定3,500円(1ドリンク付)
	■時間 17:30開演(17:00開場)
10月9日(月・祝)	■会場 静岡市清水文化会館マリナート 大ホール
マリナート公演	■券種 S席6,000円 A席5,000円 B席3,000円
	■時間 14:00開演(13:00開場)



詳しくはWEBで!

■主催 清水にぎわい落語まつり実行委員会

■お問い合わせ 静岡市清水文化会館マリナート

■企画制作 公益財団法人静岡市文化振興財団

TEL:054-353-8885

開館時間:9:00~22:00

■協賛 JAしみず

休館日:月曜日(祝祭日の場合は翌平日)

清水厚生病院

病気を正しく理解し“心臓”を長持ちさせよう

心不全につながる疾患の主な原因は、高血圧、高コレステロール値、糖尿病といった生活習慣病、喫煙といわれています。いずれも自覚症状を認めないことが多く、しっかりとした自己管理が必須です。健康診断で精密検査と診断された方やご心配な方は、受診するようにしましょう。



心不全の主な原因

疾患患者数の多い主な4つの疾患

【高血圧】血圧が高くなる病気

135/85以上あると高血圧症と診断されます。

【弁膜症】心臓のドア“弁”の病気

心臓の4つの部屋と部屋のドアの役割をしている“弁”の開きが悪くなり、血液が出ていきにくくなる狭窄症と、閉じ合わせが悪く逆流が生じる閉鎖不全症の2種類があります。

【狭心症・心筋梗塞】心臓に栄養を送る血管の病気

心臓に栄養を送る血管の冠動脈が硬化し、内腔が狭くなることで血液の流れが悪くなり、胸の痛み、圧迫感が出現します。

【不整脈】脈が乱れる病気

正常な整脈以外を不整脈と呼びます。中でも心房細動という不整脈では、心臓内に血栓という血の塊ができ易くなり、それが剥がれ飛んで脳の血管を詰まらせると脳梗塞となります。

重症度の高い2つの疾患

【大動脈瘤・静脈血栓症】大動脈・大静脈の病気

動脈血管内にこぶや壁ができる大動脈瘤、血栓により静脈がせき止められ血液がうっ滞する静脈血栓症などがあります。

【心筋症】心臓の筋肉の病気

肥大型と拡張型の2種類のタイプに分けられます。詳細な原因は解明されておらず、若年発症する場合もあるといわれています。

循環器内科外来

曜日	月	火	水	木	金
医師	森脇	非常勤医師 (交代制)	森脇	休診	森脇
時間	8:30~11:00				



JA静岡厚生連 清水厚生病院

静岡市清水区庵原町578-1
TEL:054-366-3333(代表)

問い合わせ・予約 平日14:00~16:30
電話にてご予約ください。

外来受診 平日8:00~11:00に
総合受付で受付をしてください。



農業者物価高騰対策支援金のご案内

農業用資材の価格高騰の影響を受ける市内農業者の経営を支えるため、高騰する生産資材の価格上昇分の一部を助成します。

■申請締切

2023年9月29日(金)

■支援対象

2022年の農産物販売金額が50万円以上の市内農業経営体で、以下の①、②のいずれかを満たす者

- ① エコファーマー(旧「持続農業法」に基づく持続性の高い農業生産方式の導入計画認定者)
- ② 2025年度末までの営農活動において、環境負荷低減への取組を実践する意向のある者



■支援金額

0.044※×2022年分確定申告対象経費の合計(支援上限額20万円)

※2022年3月～2023年3月の農業生産資材の価格高騰分の1/2

<支援対象経費>

種苗費、肥料費、飼料費、農薬衛生費、諸材料費、動力光熱費、農具費、修繕費(国・県が実施する各支援制度を申請している場合、該当する経費は対象外)。

■お問い合わせ

静岡市 経済局 農林水産部 農業政策課
〒424-8701 静岡市清水区旭町6番8号
TEL:054-354-2091

申請書類は市ホームページや農業政策課窓口、JA各地域営農窓口から入手できます。



今月の表紙



折戸なす研究会
窪田 正昭さん
(静岡市清水区三保)

在来種であることに魅力を感じ、折戸なすを栽培する窪田さん。休みの日には100kmなどの長距離を走るウルトラマラソンや、林道や登山道を走るトレイルランニングを楽しんでいる。

理事会だより

定例理事会:6月28日(水)

■議事

- 2022年度 下半期監事監査指摘事項に対する回答について
- 2022年度 業務報告書について
- 2022年度 連結業務報告書について
- 任期満了に伴う第19期総代選挙について
- 大口先に対する貸出議案について
- 理事に対する貸出議案について



編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

 先日、都内の高級料理店の前で、かき氷の看板が目に入った。一杯2,500円。富士山天然氷蔵元の氷を使用との事。チェーン店の牛丼が何杯食べられるだろう、などと計算しながら、持っていた「清水のお茶」を飲みながら歩いた。(伊藤)

 いよいよ暑い夏がやってきた。自宅は海のそば。湿気を含んだ潮風が吹き付ける。ガラス窓に結晶した塩のつぶを見るたび、今年も洗濯ならぬ「洗宅」しなけりやなおもう昨今。今年は台風上陸が無いことを願うばかりだ。(横谷)

 何年かぶりに制限のない夏。夏のレジャーを満喫したいところだが、各地で熱中症警戒アラートが発表される猛暑の日々。なかなか屋外に足が向かない。熱中症対策と称して食べるアイスとビールがおいしい。(杉山さ)

 ジムに通い始めてから3カ月が経ちました。見た目の変化はそれほど感じられませんが、以前よりも重いものを持つことが楽になったように思います。これからもジム通いを続け、さらなる成果を目指して頑張りたいです。(見宮)

 集出荷センターの土壌分析室を訪ねた。担当が試薬や器具を使って土壌分析を行い、ピーカーなどに入れた土壌は水に溶かされ鮮やかな色に変身。このピーカーに焼酎を入れたらどうなるかと不埒なことを考えてしまい猛省。(杉山滋)

ゆるっと発見!

しまみずの魅力

第5回

今回のゴール

身延道の名所「小島陣屋跡」

江戸時代の中部横断道「身延道」への玄関口「小島」

小島支店から、国道52号線(以下52号線)を下りますが、その前に、静鉄バス但沼車庫裏手にある但沼神社のクスノキを見学。映画「となりのトトロ」が住んでいる大木はクスノキだそうですが、この木も圧巻。トトロが出てきそうな雰囲気です。支店東側には、バラ、ガーベラ、ハウスミカンなどのハウスがあり、色とりどりの農産物がビニール越しに見えます。



但沼神社のクスノキ
そびえ立つ推定樹齢1000年のクスノキは、県天然記念物に指定されています。

風が心地よく、鳥のさえずりも気持ち良く聞こえます。下校中の小学生にあいさつをすると、元気の良い返事が返ってきました。小島小学校前の坂を登り、「ちりめんかえで」を見てから、立花橋に下ります。アユの友釣り用「おとりアユ」ののぼりをそこかしこに見掛けますが、興津川に釣り人はなし。今日は川が濁っているのか、釣果は期待できないようです。



立花橋/
昭和13年架橋。川の青に風情のある橋が夏を感じさせます。

します。本線から右に登る道を行くと開けた小高い丘、ここが小島藩陣屋跡。江戸時代、静岡県の中西部で唯一の藩です。甲州と駿河の分岐点、重要なポイントとして設けられました。二万石のため「陣屋」という形になったのですが、二万石あれば「城」が建っていたとの事。もし、ここに城が建っていたらと想像し、殿様になった気分で見下ろすも束の間、帰りはひたすら52号線を上ります。家の軒につるしてあるシンの葉が薫ります。



小島陣屋跡/
江戸時代1704年に構築された陣屋。今も整然と積まれた石垣がきれいです。

地域クローズアップ
〈小島地域〉



今回のルート	start	goal
	JALみず 小島支店	小島陣屋跡

MAP

今回のゴール

今回のスタート

小島小入口にある「ちりめんかえで」小島陣屋から移植したもの。根元から分かれた枝は、緑と赤に染色し「ちりめん」を思わせ珍し。

取材中に会った、ふわっぴーの移動スーパー

大和時代、小島から九州へ防人(さきもり)として兵役についた若者の歌。父一人を残し、悲痛に堪えて旅立思ひが記されています。